

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画（案）に対する意見募集の実施結果

1 概 要

(1) 募集期間

平成 29 年 1 月 20 日（金）～平成 29 年 2 月 10 日（金）

(2) 意見提出者

10 名（持参 5 名、メール 3 名、FAX 2 名）、意見総数 37 件

2 基本計画（案）について提出された意見

※必要に応じて、お寄せいただいたご意見の原文について、文意を変えないよう留意のうえ、語順の入れ替えや表現の変更により、分かりやすく書き直した部分があります。

※お寄せいただいたご意見について、事務局側で便宜上に分類分けさせていただいています。

(1) 駅周辺整備事業（全般）

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>【駅前整備】</p> <p>乗降者数が激変しているとはいえ、鉄路を利用され酒田市を訪れる方々があります。観光客は酒田で起きる何かに期待したり、不安だったりしながら改札口を出てきます。</p> <p>それは、仕事でいらした方も同じだと思います。そんな高揚感いっぱい、陸の玄関を一步出ると伽藍洞のような駅前が目飛び込んできます。視覚的にはマイナスからのスタートです。けれど、街で出会う人たちは親切で、食べるものは派手さやしゃれっ気はなくとも素材が抜群によく、大きなビルや大がかりなイベントはなくとも、「ほんの些細なこと」が最高の旅の思い出になることがあります。</p> <p>私は仕事で全国各地の駅前を見てきました。その経験からですが、行きかう人は大勢いても、自分自身が「ギュッ」と閉じこもっては何も起きません。ただ、駅前の印象が明るければ、自然と心は開放的になっていきます。これは、想像ではなく経験からです。</p>	<p>長い間、駅前地区は交通結節拠点として、酒田の玄関口にふさわしい風格と賑わいのある都市空間整備が実現できずにいました。</p> <p>2度の民間開発不調を経て、今般、市が主体となって、駅前地区の計画づくりを進め、「観光起点＋市民の憩いの場」を基本理念としたビジョンを策定したところです。</p> <p>特に、今回の再開発事業については、早期実現に向け、取り組んでいきます。</p>

<p>2</p>	<p>【駅前整備】</p> <p>「知のアリーナ」という事で、「知」の文字が目 に飛び込み嬉しくなりました。酒田において 「知」に関しては、初めてかと思えます。 人口減少の進む本市としては、若い人達に活躍 してもらわないといけないので、情報産業を含 むものづくりの企業が必要です。高速道路や新 幹線がつながってなく、首都圏につながって るのは、空港のみですが、やはり中心は、駅から始 まるので、駅前にコミュニケーションポートが 出来る事は、重要であり、ここに「知」のアリー ナが出来る事を期待します。</p> <p>酒田産業フェアの展示ブース程度で、月毎に各 企業の先端技術や製品紹介を行い、ミニ博物館 的機能を持たせ、ビジネスで来酒した方が、ここ で情報を得られるようにすると良いと思う。</p> <p>施設のスペースを利用して、小中学生から高校 生、大学生、一般までが自由に集い、ものづくり について議論する。そして、この「知」のアリー ナに、少年少女発明クラブを設けてほしいと思 います。</p> <p>私が現役の頃は、ものづくり企業も多くあり、に ぎやかな町でした。歴史と文化をうたう本市は、 西の堺、東の酒田とうたわれた頃のように頑張 って欲しいです。</p> <p>若者から、アイデアを出してもらい、元気良く活 動してもらい、失敗なら失敗でもいい位の、責任 と成果を追及するだけでなく、器の大きな判断 が出来る人になってもらえばいいと思う。</p> <p>ものづくりには「知」、観光には「地」を活かし、 隣市には負けない酒田の発展を期待します。</p>	<p>基本理念である「知（地）のアリーナ」として、 知（地）的好奇心を駆り立てるような場所を目指 し、若者から高齢者まであらゆる層の市民が集 い、利用し、活動できるような施設にしたいと考 えております。</p> <p>また、学び・成長する場として、次代を担う若者 等の人材の育成の役割を担うべく大事な施設と 考えていますので、ご意見を参考にしながら、地 域課題解決支援など各種事業に取り組んでまい りたい。</p>
<p>3</p>	<p>【商業施設】</p> <p>駅前地域は高齢化率も高く、「図書館」の要望が どの位あるのか疑問です。駅前には、日常生活に 必要な買物が出来る「店」がありません。市当局 としてこの要望にどう応えるつもりですか。</p>	<p>日用品の買い物が出来る「店」について、所謂ス ーパーということであれば、残念ながら市場調査 の結果、誘致は難しい状況です。しかしながら、 昨今、高齢化社会に対応したサービスを兼ね備 え、その果たす役割が重要視されているコンビ ニエンスストアからの関心が寄せられており、入居 する可能性があります。最終的には、今後調整し</p>

		ていくことになります。
--	--	-------------

(2) ライブラリーセンター

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>【図書館機能・全般】</p> <p>図書館についてのアンケート結果では、図書館に今まで来たことがない人にいかに足を運んでもらうかと、イベントや気軽に立ち寄れることを重視したり、飲食が可能、開館時間の変更、WiFi 機能の充実などの検討があげられています。これらのことも、必要でしょう。あわせて、いかに、「本来の図書館の機能を充実させるか」という点も、もっと検討されてよいのではないのでしょうか。今までの図書館活動の良ささと不十分さが、この本書にはほとんど記されておらず、いかに人を呼び込むかそこに焦点があると思えます。酒田市が「図書館機能はかくあるもの」と、市民に示し、その上で改善・向上するための提案がなされるのが筋だと思います。</p>	<p>今回の整備基本計画（案）の策定にあたっては、これまで培ってきた中央図書館等のサービス機能やネットワークの引継ぎを前提して、より幅広い市民からの利用拡大を図るための充実しなければいけない方策等に力点を入れて整理したものであります。</p> <p>その中において、社会教育施設、図書館機能として果たすべき役割として、「学びたい、知りたいに応え、地域課題の解決への支援を担う知の拠点」「地域を知り、好きになる郷土愛を育むサービス」「児童・子育て世代へのサービスの充実」など方針を示させていただいております。</p> <p>なお、教育振興基本計画や子ども読書活動推進計画において、基本となる図書館活動の方向性を定めているところです。</p>
2	<p>【図書館機能・全般】</p> <p>ワークショップに参加して、いろんな意見を耳にしました。酒田の駅前に大きな建物はいらぬ。現存の図書館をなくする必要がない！税金の無駄づかいだ！！そんな意見もでていました。私はそうは思いません。</p> <p>図書館（ライブラリーセンター）は生まれ変わるべきだと思う。もっと、利用する人に寄り添ったサービスのできる環境を新しく整える必要があるのではないかな？といつも思っています。</p> <p>図書館に行ってみたいものの、働いている司書の方には声かけにくくて、新聞を読破している年配の方には気を使い、一生けん命に勉強している学生たちには別環境があればな～と思いにふける。</p> <p>幅広い年齢の方が集まる最大の居場所になることを期待しています。</p>	<p>現在の中央図書館を引き継ぎつつ、全体的に図書館利用者が少ない現状からその新しい利用者の掘り起こしを図り、市民の共有財産としての役割を果たしたいと考えています。</p> <p>市民の豊かな知的生活を営む市民の居場所となるよう整備を進めてまいります。</p>

3	<p>【図書館機能・全般】</p> <p>酒田の駅前が賑わうことは近隣住民にとっても、市民にとっても願いであると思います。しかし、図書館が賑わいをつくり出すために、本来のあり方に関係なく活用されることに賛成しかねます。</p> <p>「図書館」についての考え方を市民に示して下さい。市民と一緒に「図書館のあり方を考えるつどい」を計画してください。</p>	<p>これまでの図書館法上の図書館の位置付けを、変えるものではありません。</p> <p>これまで培ってきた中央図書館等のサービス機能やネットワークの引継ぎを前提して、より幅広い市民からの利用拡大を図るための充実しなければいけない方策等に力点を入れて整理したものであります。</p> <p>その中において、社会教育施設、図書館機能として果たすべき役割として、「学びたい、知りたいに応え、地域課題の解決への支援を担う知の拠点」「地域を知り、好きになる郷土愛を育むサービス」「児童・子育て世代へのサービスの充実」など方針を示させていただいております。</p> <p>なお、教育振興基本計画や子ども読書活動推進計画において、基本となる図書館活動の方向性を定めているところです。</p> <p>また、将来にわたり、持続的な施設運営を図っていくために、ボランティアをはじめとする市民参画型の施設づくりが重要と考えていますので、その進め方については、今後検討していきます。</p>
4	<p>【図書館機能・全般】</p> <p>図書館を「ライブラリーセンター」として、にぎわいや、人集めの目玉にする事には反対です。本来の図書館の理念や機能が不明確になるのではと懸念します。きちんと「図書館」との名称にさせていただきたい。現在の駅前があまりにも何もなくて、飲食、買い物、待ち合わせ等の場所も無かった事から色々な要求が出て来たと思われませんが、それらを図書館に持ちこむ事はどうかと思う。</p> <p>学生達の勉強の場、交流の場、親子でくつろげる場等は必要でしょう。長時間、研究や調査する人の為に、持ちこみで飲食出来る部屋は必要だと思います。カフェ等は、図書館の外に造ってほしい。</p>	<p>現在の中央図書館を引き継ぎつつ、全体的に図書館利用者が少ない現状からその新しい利用者の掘り起こしを図り、市民の共有財産としての役割を果たしたいことなどから、今回新しい社会教育施設のイメージとしてライブラリーセンターと呼称しています。これまでの図書館法上の図書館の位置付けを、変えるものではありません。</p> <p>商業施設やテーマパークのような賑わいや人集めの目玉を追求するためのものでなく、貸出中心型から、市民の豊かな知的生活を営む場所として機能の充実を図り、多くの市民に利用してもらい、そこに人が集う結果により、施設らしいにぎわいが生まれることを期待しているものです。</p> <p>カフェについては、読書やビジネス等との相性が良いものと考えています。</p>
5	<p>【蔵書】</p> <p>蔵書 30 万冊を管理するには、有能な司書が必要になります。市民の要望の中にも、蔵書の充実は</p>	<p>人材の育成については、大変重要と考えています。蔵書数だけを満たせば良いというのではなく、それが市民財産として活用されて始めて、知</p>

	ありますが、蔵書を増やすという意味ではないと思います。蔵書をむやみに増やしても、きちんと活用できなければ財政の無駄だと思います。冊数を増やすより、そこで働く人材の育成に力を注ぐべきです。	の拠点等としての目的を達成できるものと考えますので、人材の育成には十分配慮していきます。
6	【配架】 乳幼児室に、絵本だけでなく子育て関連本を置いてください。	現在の児童図書室でも、一部子育て関連本を置いてあります。新施設の配架計画にあたっては、配慮していきたいと思います。
7	【現図書館】 中央図書館の現状で、蔵書の増加があるにもかかわらず、来館者の減少傾向が続いていることが指摘されています。この本書では、それが何故なのか分析されていません。司書・図書館職員の皆さんが今まで取り組まれてきた図書館の機能を十分にいかすための活動についても、図書館の機能を市民に具体的に知ってもらうために記載したほうが良かったと思います。(とりわけリクエスト制度、レファレンス活動、ブックファーストなど、市民に関心を持ってもらうために中央図書館がやってきたこと)	ご指摘の課題、原因を把握するため、今回、市民アンケート等を実施しましたので、そちらで分析させていただきました。現図書館の利用頻度では、全体的に図書館利用者が少なく利用者層の固定化が大きな要素と考えられ、その分析もさせていただきました (P24、P27)。 今回の整備基本計画(案)の策定にあたっては、これまで培ってきた中央図書館等のサービス機能やネットワークの引継ぎを前提して、より幅広い市民からの利用拡大を図るための方策等に力点を入れて整理したものであります。 現在の図書館の活動内容等については、別途、毎年、その概要を発行しているところであります。そちらをご覧くださいと思います。なお、市のホームページにも掲載しています。
8	【現図書館】 P20～23 「本館専有面積、蔵書密度等」が他館より低位にあることは事実ですが、貸出数密度が低位にある原因は他にあるのではないかと愚考します。つまりコンピューターによる蔵書検索機能が後れている、あるいは操作しにくいことによるのではないかと想像しています。	市民アンケート結果から、全体的に図書館利用者が少ない現状から、利用者層の固定化等が課題と考えられ、その他の層に対するニーズに応えきれていないと考えます。 蔵書検索機能については、特に問題なく運用できていると考えます。
9	【現図書館】 P28 “資料の充実、静かな読書環境”について現在の中央図書館の2階の事務室隣の部屋(大きいテーブル2、座席4)内には辞典、その他参考書豊富。いつも2～4人が利用しています。	特別閲覧室のことで存じます。新施設においても、当該閲覧室の資料は引継ぎ、静かな読書環境を確保していきます。
10	【現図書館】 近頃、館内(フロアー)で仕事をされている職員の数が少ないのではないかと感じています。あ	平成28年度の職員体制は、中央図書館(児童図書室含む)で、正職員が8名、日々雇用職員10名となっています。うち司書資格者は、8名(正職員

	<p>るいは私の思い過しかもしれません。貸出、返本、収納、コピー、相談に応じるコンピューター操作の手伝い等。私の思いすごしかもしれませんが気の毒で声を掛けるのをためらってしまいます。私のお節介かもしれませんが…館長さんのお名前は掲示してありません。司書さんが何人おいでになるのか。臨時の方もいらっしゃるのか。そんなことも知らずに図書館を利用させていただいて、よいのかと思っています。</p>	<p>2名、日々雇用職員6名) となっています。年度の途中で、その体制については、変更していません。</p> <p>また、いつでも何かありましたら、声をかけていただければと思います。</p> <p>なお、館長の氏名については、事務室の前に掲示しておりますので、ご確認ください。</p> <p>その他不明な点があれば、図書館の方へ随時お問い合わせください。</p>
11	<p>【現図書館】</p> <p>「コミュニケーションポート」として駅前再開発事業が決定・実施されますが、メインを「図書館」にしている様に受けとめました。図書館で駅前の賑わいをとりもどせるのか、疑問があります。なぜなら、今、活字離れは云われ、図書館の利用も減っていると聞きます。</p>	<p>現在、図書館の利用者は減ってきていますが、それでも年間来館者数は、観光施設を除く公共施設の中では、トップクラスとなっており、持続可能な駅前のまちづくりを進める上で、効果の高い集客施設と考えています。利用者層の固定化等も課題と考えられるため、特に、若い世代から多く利用してもらえるような仕組みづくりを進め、新しい利用者層の掘り起こしを行い、人の流れを呼び込みたいと考えています。</p>
12	<p>【運営】</p> <p>ライブラリーセンターのサービス、整備方針では、「人財育成」をかかげるなら、「若者」の次は、児童子育て世代、学校図書館の支援、が重視されるのではないかと考えています。</p> <p>図書館は、世界共通に差別区別なく人間を一生涯において成長させてくれるところ。そのための知的活動をするところ。特に児童・中高生においては、図書館に行けば知りたいことが何でもわかる。そうあってほしいと思っています。知りたいことを促すようなレファレンスの充実強化を、酒田市でもぜひ実現してほしいと思います。そのためには、委託や指定管理者ではなく、市直営で、専門職・司書を正規で多数雇用し、専門職としての研修の充実を図ってもらいたいと思っています。委託や指定管理者で、市民の声が本当に反映されているのでしょうか。たいへん危惧します。</p>	<p>ご意見のとおり、図書館機能の充実を図っていきたいと考えます。</p> <p>具体的な運営体制については、目標の実現のために、限られた資源の中で効果的かつ効率的な運営を図っていく必要があります。市としてどうしていくべきか、今後検討を進めていきます。</p>

13	<p>【運営】 「立派な図書館司書」は一人で十分ですので、柔軟に対応してくださる「本が好きな人」がいてくれたなら、最高の居場所になると思います。</p>	<p>司書だけにこだわらず、施設で働く者全ての意識の向上、人材の育成が重要と考えています。</p>
14	<p>【運営】 運営組織体制においては、所管が一元化され、駅前公共施設所管課、その中の図書館所管課とされていますが、図書館は、教育委員会の所管と位置づけてもらいたいと思います。図書館だけ一元化運営体制からはずして従前通りの教育委員会管轄にさせていただきたいと思います。図書館には戦前苦い経験があったからこそ、国民の知る権利を守るためにも中立を維持できるように、管轄が教育委員会になった歴史があります。 「図書館の自由に関する宣言」資料収集の自由・資料提供の自由・利用者の秘密を守る・すべての検閲に反対する。この図書館の自由を本書は、ふまえているでしょうか。所管を教育委員会からはずすことは、市民の知る権利を酒田市は守らないと宣言することに等しいと思っています。委託も指定管理者も同様だと考えています。昨年11月に高市総務相は「図書館は指定管理者になじまないこと」を国会で述べています。 図書館を教育委員会からはずすことは、本書の将来世代への約束・宣言に反することになるのではないのでしょうか。</p>	<p>図書館機能は、社会教育機関であり、教育事務であり教育委員会所管事項となります。 その上で、「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会）の趣旨を具現化することと、組織体制の議論は直接的に影響されるものではないと考えています。 なお、地方公共団体は、数多くの法律行為の実現を図るため、限られた資源の中で効果的かつ効率的な組織を組んで、市民の福祉向上の増進を図っています。法においても、最小の経費で最大の効果を上げるよう求められています。より良いサービスを提供していくための組織体制、運営体制を引き続き検討してまいります。 なお、総務大臣の国会での発言は、確認できておりません。</p>
15	<p>【運営】 コミュニケーションポートの「運営組織」を「従来型」から「コミュニケーションポート運営体制」にする、としています。 図書館については、「図書館の自由に関する宣言」がされている様に観光情報やバスベイ等とは異なる位置づけがされています。 これを「駅前公共施設」としてひとくくりにするには無理があり、図書館の置かれてる位置づけ否定してしまいます。よって、図書館については「宣言」にある様に今迄の管理体制にしておくことが必要であると思います。</p>	<p>「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会）の趣旨を具体化することと、組織体制の議論は直接的に影響されるものではないと考えます。 地方公共団体は、数多くの法律行為の実現を図るため、限られた資源の中で効果的かつ効率的な組織を組んで、市民の福祉向上の増進を図っています。また、法において、最小の経費で最大の効果を上げるよう求められています。 より良いサービスを提供していくための組織体制を引き続き検討してまいります。</p>

16	<p>【運営】</p> <p>図書館の所管を「駅前公共施設所管課」にひっくるめる事には反対です。図書館は現在通り、市の直営とし、指定管理者に丸なげする事には反対です。</p>	<p>地方公共団体は、数多くの法律行為の実現を図るため、限られた資源の中で効果的かつ効率的な組織を組んで、市民の福祉向上の増進を図っています。また、法において、最小の経費で最大の効果を上げるよう求められています。</p> <p>より良いサービスを提供していくための組織体制を引き続き検討してまいります。</p>
17	<p>【人材育成】</p> <p>ライブラリセンターは、まちづくりや地域の振興・活性化の核となるために、人材育成の要となるよう期待します。地域活性化を図るためには、オンリーワン・ナンバーワン商品の開発と、IT活用と語学習得を図りながら地産地消の拡大とグローバルビジネスの拡大を図らねばなりません。インターネット社会は地方にとっては大きなビジネスチャンスでもあり、乗り遅れば行政区域を越えた商いで衰退速度を速めてしまいます。企業誘致の拡大と誘致企業の事業領域拡大のためにも、IT技術者のメンター配置と教育環境整備を図っていただければと思います。</p> <p>なお、グループ学習は同じ志を持つ者同士は、教え合い・刺激し合うことによって、急速に上達します。今のロケーションでもできるので、環境整備をどうすればよいか検討してはいかがでしょうか。私が企業で研修担当で勤務していた時にはIT技術者をメンターとして配置し、ITの国家試験が近づいた1か月前からの時間外自粛日には図書室を開放してグループ学習を行うことによって、自学自習のみよりかなり成果を得ました。</p> <p>文部省事業で僻地教育に取り組んだところ、地方と都会人の違いはコミュニケーション能力です。幼い時から読み聞かせだけではなく発表したり発信したりできる力を身に着けさせたいと思います。</p>	<p>将来にわたり、本市が発展していくためにも、人材の育成は大変重要であり、現在、本市では、「人財と風土が支える産業・交流都市酒田」を目指し、様々な人づくりに取り組んでいるところです。</p> <p>新しい駅前公共施設においても、そういった人材の育成の役割を担うべく大事な施設と考えていますので、ご意見を参考にしながら、地域課題解決支援など各種事業に取り組んでまいりたい。その際は、ぜひ、地域の企業やボランティアの皆様等からのご協力も得ながら、進めていければと思います。</p> <p>また、当該施設が、市民の発表の場、ハレの場としても活用していただきたいと考えています。</p>

18	<p>【人材育成】 本と人をつなぐボランティアの育成と強化にも力を入れてください。</p>	<p>現在、読み聞かせボランティア養成講座の実施や図書館ボランティア団体への支援など、その充実に取り組んでいるところです（子ども読書活動推進計画）。</p> <p>将来にわたり、持続的な施設運営を図っていくためにも、ボランティアをはじめとする市民参画型の施設づくりが重要と考えています。</p>
19	<p>【学校図書館】 中高生の利用者を増やすためには、学校図書館との連携が不可欠であるとともに、そこで働く人材の育成とサポートも必要です。本学校図書館支援ルームを設置してください。</p>	<p>現在、学校図書館と連携し、魅力ある学校図書館づくりを進めているところです（教育振興基本計画・子ども読書活動推進計画）。</p> <p>現時点では、支援ルームという形で単独に組織を設置する予定はありませんが、引き続き、学校図書館との連携を進め、サポートする人材の養成に努めてまいります。</p>
20	<p>【施設配置】 施設ゾーニングイメージ図で、カフェの隣が児童室では最悪です。子どもはうるさくして騒ぎます。その場所は、時代小説、中国古典、郷土資料、歴史資料やラウンジコーナーです。反対側に、NDC 0～6で一階はどちらかというとなりになります。</p> <p>二階に子供と大人兼用の絨毯敷きのビジュアル系の自然科学の棚。他に幼児、小学生、中学生、YA、家庭実用書を置いてください。</p> <p>足腰に不安のあるシニアは一階、元気な子どもは二階です。</p>	<p>イメージ図である一階は、駅前からの正面性や目抜き通りに面するまちかどの顔として、人の活動、躍動が感じられる公共空間を創出したいと考えており、比較的にぎやかなスペースとして一階全体を考えています。</p> <p>今回は、大きな枠組みで示させていただきましたが、今後の配架計画を検討していく中で、児童図書の本所を幼児、小学生、中学生、ヤングアダルトといったような成長段階に応じた配架等により、うまくカフェとつなげて行くなど検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、施設全体においても、エレベーターを設置するなど、高齢者、障がい者、子育て世代等に配慮した施設整備に努めていきます。</p>

21	<p>【名称】</p> <p>駅前を「人で賑わう空間を形成し賑わいと交流を向上させる」ものとするとし、そのために「ライブラリーセンターを中核とした公共施設」をもってすることで、「観光拠点・市民の憩いの場」としていくと記されています。そして、ライブラリーセンターの機能として「未来をきずく人財育成、交流支援機能の充実、学び・子育て・交流・情報発信の場」と位置づけ、「この本書が、羅針盤の役割、将来世代への約束、宣言書」であると記されています。</p> <p>将来世代への約束であるのなら、なおのこと、この基本計画においての中核となるライブラリーセンターの考え方にたいへん疑問を感じています。</p> <p>ライブラリーセンターは現中央図書館の移設が前提になっていると受け止めています。図書館の移設であるならば名称は「図書館」ではないでしょうか。名称は、ライブラリーセンターではなく、「図書館」と日本語でお願いしたいと思っています。</p>	<p>現在の中央図書館のサービス機能やネットワークを引き継ぎつつ、全体的に図書館利用者が少ない現状からその新しい利用者の掘り起こしを図り、市民の共有財産としての役割を果たしたいことなどから、今回新しい社会教育施設のイメージとしてライブラリーセンターと呼称しています。これまでの図書館法上の図書館の位置付けを、変えるものではありません。</p> <p>なお、名称の意味（理由）について、注釈を付します。</p>
22	<p>【名称等】</p> <p>本書にライブラリアンという聞きなれない表現がありますが、図書館員と何故書かないのでしょうか。また、専門職の司書という記述はまったくありません。市民の人財育成をめざすのなら、何故、司書の充実が記されないのでしょうか。ライブラリーセンターが図書館であるのならば、館長は司書の有資格者にしてもらいたいと思います。</p>	<p>ライブラリーセンターとの関連から、そのような表現をさせていただいています。なお、注釈にて補足させていただきました。</p> <p>施設の目標の実現のためには、司書資格を有する者だけでなく、施設運営に関わる者全ての人材の育成が必要と考えることから、全体を包括して強調したものであります。</p> <p>館長については、司書資格の有無にかかわらず、施設の目標実現に向けた事業マネジメント能力が重視されるべきと考えています。</p>

(3) 観光情報センター、イベント等

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>私は海外ツアーを楽しんでいます。全国から集まるツアー客は酒田を知る人はほとんどいません。しかし、羽田発 ANA 系列で直行便や乗り継ぎ便で出かけると、前泊・後泊なしで庄内空港において国際チェックインができます。都会の人に話すと、すごく便利だねと驚かれます。旅行地では本やネットでは得ることができない情景を目にし、地元料理を食べ、現地ガイドの説明を聞くことでタイムスリップした気分です。異文化を楽しんでいます。私が行く旅行はお年寄り客が多いので SNS はやっていないようですが、カメラ代わりにスマホやタブレットを持参するツアー客が年々増えています。</p> <p>このような環境下で、庄内の観光事業も受け入れ体制を整えば、グローバルビジネスとして成長させるチャンスはあると考えます。鶴岡は先行して東京オリンピックを契機にインバウンドの観光プランを組み立てていますが、庄内地方は庄内藩と酒田豪商で長い間歴史文化を築いてきました。双方の異なる文化をうまく組み合わせ、地域ブランド力を高めることによって皆様に楽しんでいただければと願っています。そのためには酒田の観光資源をブラッシュアップし、ストーリーデザインを描いて年間を通して楽しめる観光プランを作成し、酒田独自文化の魅力を引き出す演出や紹介ができればと願っております。</p>	<p>本市の知名度や観光資源の認知度がまだまだ低いなどといった課題と踏まえ、昨年の3月に中長期観光戦略を策定しています。</p> <p>観光戦略の中で、酒田の観光の礎を「K O E K I（交易と公益）のまち・酒田～港町文化とおもてなしのまち・酒田～」と位置づけ、酒田の強みである「歴史・伝統」「食・食文化」「自然景観」「公益と豪商」を4つのサブストーリーとして設定し、今後はこれらを具体化させていきたいと考えています。</p> <p>また、ご指摘のとおり、広域的な視点も必要であると考えていますので、庄内地域のみならず県や日本海側の観光圏などとも連携し、観光誘客に努めてまいります。</p> <p>駅前の観光情報センターとしても、本市及び広域の情報発信機能の強化を図っていきたいと考えています。</p>
2	<p>観光情報センターには関係者同士や観光客との交流の場として使えるプレゼンできる多目的ミーティングルーム（ライブラリーセンターと兼用）があれば、お客様の声を反映しながら進化させることができ、地域ブランドの向上に役立つと思います。</p>	<p>観光情報センター専用の多目的ルームは、現在のところ考えておりませんが、兼用として利用できるものは整備していきたいと考えています。</p>
3	<p>私自身酒田の歴史に非常に興味を持っており、勉強しながら酒田独自文化を後世にも伝えていきたいと思っています。機会があれば観光プロ</p>	<p>将来にわたり、持続的な施設運営を図っていくために、ボランティアをはじめとする市民参画型の施設づくりが重要と考えています。大変心強いお</p>

	ジェクトに参加したいと考えております。	言葉ありがとうございます。機会がありましたら、是非ご参加ください。
4	酒田の玄関口としての案内情報の強化について、東北公益大のほか、土門拳記念館、酒田美術館、本間美術館などの展示作品を月交代で展示するガラス貼りのショーウィンドウを作る。(出張アンテナ美術館)	予定施設規模から、大掛かりなショーウィンドウを整備することは難しい状況ですが、酒田の玄関口、観光の窓口として、案内機能を強化していきたいと考えており、その中で、各施設へ回遊を促す情報発信などの仕掛けづくりを検討していきたいと考えています。
5	フレンチ、ラーメン等は全国どこでもあり、あまり魅力的とは思えない。海鮮系がいいと思う。	中長期観光戦略において、「食・食文化」を本市観光のサブストーリーの一つに位置付けており、観光資源としてPRし、本市への誘客につなげてまいりたいと考えています。 ご意見のとおり、湊町の本市としては、海鮮系も重要な観光資源でありますので、例えば寒鰯まつりの駅前会場として広場を活用していただく等の企画を検討していきたいと考えています。 なお、「酒田フレンチ」「酒田のラーメン」についても、それぞれに物語があり、全国的にも高い評価を受けていることから、地酒等と合わせてPRに努め、本市への誘客や宿泊等につなげていきたいと考えています。
6	市内の各施設が点ではなく、酒田市全体を面として捉え、各施設が繋がってほしい。点を面として捉え、酒田市の玄関口としての役割から考えると大きなジオラマ(酒田市の山、街、海)がほしい。ジオパークに認定されたので、例えばハイキングルートを示すなど活用してほしい。出来れば、最近はやりのプロジェクトマッピングを使って、酒田の四季(豊かな)を表現してほしい。冬は雪、春は花、紅葉など。	酒田の玄関口、観光の窓口として、案内機能を強化していきたいと考えており、その中で、各施設へ回遊を促す情報発信などの仕掛けづくりを検討していきたいと考えています。 また、観光客のオーダーに合わせた観光モデルルートの紹介や鳥海山・飛島ジオパークの情報発信などにも対応していきたいと考えています。 ジオラマやプロジェクトマッピングのアイデアについては、参考とさせていただきます。

(4) その他の施設機能

No.	ご意見	本市の考え方
1	【バスベイ】 バスベイについて、駅前で多くの人が憩う場所であること、冬期間は気候が厳しいことを考慮し、バス乗り場はピロティ状とし待合室も屋内設置としてほしいと思います。	事業費が大幅に嵩む等の理由から、ピロティ状のバス乗り場は予定していませんが、安全で快適にバスを待つことができる環境整備に努めていきます。

2	<p>【歩行者通路】 駅舎との関係について、将来あるだろう駅舎の改築の際に2階で駅からの歩行者通路と連絡することを想定した設計にすべきだと思います。</p>	<p>将来的な駅舎の方向性が定まっていな中で、連絡通路を想定した整備は難しいと考えています。しかしながら、駅、駅舎との動線連携は重要と考えており、それを意識した整備を進めてまいります。</p>
---	--	--

(5) その他

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>【情報発信】 車で集まってくるのではなく、散歩の途中にふらっと立ち寄れるように、「図書館情報」や「光の湊通信」みたいなものを酒田駅構内や路線バスの中にも掲示してあったらいいのかなど思ったりしています。 ワクワクするような仕掛けを官民一体で考えていければ、理想的ではないかと思えます。 お互い、人任せでは何も生まれないな・・・と常日頃考えています。</p>	<p>ご意見のあった情報発信の充実は、参考になるものと考えますので、今後、運営を進めていく中で検討していきたいと考えます。 また、行政だけの運営でなく、隣接する民間施設、地域、周辺商店街等、面的な連携が活性化のために重要と考えています。</p>
2	<p>【事業推進体制】 酒田コミュニケーションポートをまちの「再生のシンボル」とすることは大賛成です。この整備基本計画書の内容は大筋賛成ですが、今のロケーションでも実施でき軌道に乗るまで時間を要する項目が多いので、準備室及びプロジェクトを早急に立ち上げ、組織経営の仕組みを確立するとともに、円滑にロケーション移動ができるように準備をお願いします。</p>	<p>ご意見のとおり、整備基本計画（案）では、現段階からでも取り組むべき項目がありますので、実施できるものは速やかに進めてまいりたいと思えます。 準備組織体制のあり方については、事業進捗や市全体組織状況を踏まえながら、適切に対応していきたいと考えます。</p>
3	<p>【用語】 本書は、カタカナが多く、理解に苦しむ表現が多々あります。時代がそうであっても、誰もが理解できる表現にしていきたいと思えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、注書きを付すなど、修正いたします。</p>
4	<p>【用語】 整備基本計画（案）を見て、あまりにもカタカナ語が多い。なぜ日本語で表現できないのか。一部の人が理解出来ればいいのか。私の様な老人は苦勞します。公の文書であれば、万人が理解出来る物にしていきたい。</p>	